



— 主題 —

- |                                |               |
|--------------------------------|---------------|
| 西宮クラブ会長 「一期一会 小さなことをコツコツと」     | 廣瀬一雄          |
| EMC事業主査 「まず足元を見つめなおすことから始めよう！」 | 濱 浩一          |
| 六甲部部长 「寄り添い、分かち合い～三方よして、みんな笑顔」 | 大野智慧          |
| 西日本区理事 「未来への挑戦」                |               |
| 「羽ばたこう！2022年ウィズ100周年に向かって！」    | 新山兼司          |
| アジア会長 「100年を超えて変革しよう」          |               |
| スローガン「健康第一」                    | 大野 勉          |
| 国際会長 「世界とともにウィズメン」             |               |
| スローガン「愛と尊厳で世界をいやそう」            | Kim Sang-Chae |

2021年  
11月

883号  
(75期5号)

11月 西日本区強調活動： ASF YMCA サービス  
 クラブメンバーとYMCAスタッフの相互理解と親睦を深めましょう。そして目的をひとつにしましょう。  
 河口裕亮 Yサ・ユース事業主任（彦根シャトー）

西宮ウィズメンズクラブ 11月第一例会

日時：11月12日(金)18:30~20:00(ZOOM 併用)  
 場所：西宮 YMCA 3F 会議室  
 ドライバー： 西山茂夫メン、馬場一郎メン

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| 1 開会点鐘                 | 廣瀬会長   |
| 2 ウィズソング               | 一同     |
| 3 聖句朗読                 | 藤田担当主事 |
| 4 開会祈祷                 | 小野メン   |
| 5 ゲスト紹介                | 馬場一郎メン |
| 6 講演 神戸YMCA 総主事 井上真二さま |        |
| テーマ「神戸YMCAの現状とこれから」    |        |
| 7 懇談                   |        |
| 8 お誕生日お祝い              |        |
| 9 ウィズニュース              | 廣瀬会長   |
| 10 YMCA報告              | 藤田担当主事 |
| 11 閉会点鐘                | 廣瀬会長   |

HAPPY BIRTHDAY  
 <NOVEMBER>

- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 清水真由美メネット | 11 浅野純一メン |
| 18 山本容子メネット | 23 阪根新メン  |
| 30 山口吉郎メン   |           |

今月の聖句

「私たちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。」

コリントの信徒への手紙二 4章18節

藤田良祐 担当主事選

10月出席状況 (在籍会員数 22名)

第一例会 (8金)	第二例会 (29金)
メン 15名	メン 10名
メネット 2名	メネット 0名
ゲスト 5名	合計 10名
MU 4名	
合計 19名 (出席率 86.7%)	

ファンド	10月	累計
ニコニコファンド	¥4,000	¥10,000
BF@300	¥3,000	¥7,500
震災支援@200	¥2,000	¥5,000

主役員

- 【会長】 廣瀬 一雄    【直前会長】 万本 敬一    【副会長(次)】 濱 浩一    【副会長】 石井 恭子  
 【書記】 小野 勅紘, 山口 吉郎    【会計】 重村 仁, 濱崎 進一    【監事】 阪根 新, 山口 政紀  
 【EMC主査】 濱 浩一    【LD委員】 馬場 貴英    【組織検討安全対策委員】 山口 吉郎    【担当主事】 藤田 良祐

## 会長メッセージ

会長 廣瀬一雄メン

10月例会も9月例会同様にズームハイブリッドとなりました。当初は急遽中止となった納涼例会を予定していた会場で食事をしながらと、計画されていたのですが・・・。ゲストスピーカーの芝川さんには地元甲東園、上ヶ原との結び付き、ファミリーヒストリー、教員時代の心揺さぶるお話と、ご持参いただいたギターの生演奏とボーカルの素敵なお話と時をもてました。ズームでのアットホーム、アットオフィスからの参加のクラブメン、さらにピジターさんも多数お越しいただき感謝です。



びわこ部会が予定されていましたが延期となりました。そこで度度友人が二人展を長野のコロシウムイン・蓼科で10月から開催されるとのこと、訪問することにしました。絵画と写真の展示で、絵画は半世紀近く前に同じ職場でお出会いし、早期に退職し信州・原村でペンション経営し、そののち画業専業されました。小生地元の六軒市民館が新改築された時、さらに近年関西学院傍に甲東消防が新築された時に100号の絵画を寄贈いただいております。さわやかな色つかい、筆遣いですね。



写真は神戸女学院のカレンダーに多数登場していますが造園家。以前は中高の教員でしたが。

(写真、①二人の作品を背景に。②見学の八島ヶ原湿原のモニュメントをバックに、45周年の今も優しい?メネットと)

## 10月第一例会報告

ドライバー 足立康幸 丸山悦治 山本常雄

10月第一例会は10月8日に西宮YMCAで開催され、ゲストスピーカーは8月の納涼例会でお話し頂く予定の千島土地(株)会長の芝川又美氏でした。コロナ騒動の為延び延びになっていましたが会場を西宮 Y に移し前月同様リモート併用食事なしでの例会と相成りました。講演に際しては、丸山ドライバーから詳細に亘るスピーカーの人となりの紹介があり、初対面の方々にとっても分かりやすい、親しみの持てる講演会となりました。

お話しは『備えられし道』と題し芝川氏の曾祖父芝川又右衛門氏が上ヶ原に別荘をお持ちで、通う交通の利便性から阪急電鉄の小林一三氏に相談し、既に敷設済みの宝塚・今津線の甲東農園近くに土地と設置費用を提供し駅舎を建設したことや、当時原田の森に学舎のあった関西学院が大学創設を目指し広大な土地を求めていたこと、また阪急電鉄が上筒井を西限としていて三宮まで延伸したかったことや、上ヶ原台地の有効活用を又右衛門氏ほか近隣有志が所望して居られたことなどが巧く纏められ、win-win の関係で開発が進んだこと、またその延長線上



で又美氏も中学から大学そして高校教員として関西学院に係ってこられたこと等をお話されました。また第2話として、高校野球の引率で2回甲子園に出場されたとして、内容は野球の話ではありませんでしたが、ある教え子の人生物語《挫折～逃避～出会い～改心(回心)》を感動的にお話されました。



その後お得意のギターでお話を総括される様な讚美歌Ⅱ編26番「小さなかごに」と中島みゆきの「時代」をご披露頂き一同感銘深くお聴きしました。

その後の質疑(ご意見お伺い)で重村ワイズが先の63年振りに甲子園に戻ってきた関学高等部の第70回選抜高校野球の資料を纏めて居られることや関学高等部の野球部監督の広岡正信氏の仲人を務められたことなどのお話がありました。また今月の聖句で浅野ワイズがサウロの回心の話(目から鱗の話)を取り上げられたことも当日のお話し《備えられし道》に相応しい不思議なご縁を感じる例会となりました。



その後芝川氏のギター伴奏でハッピーバースデー

を歌い8～10月生まれの9名の方々のお誕生日のお祝いをしました。

あと廣瀬会長のワイズニュース、藤田主事からのYMCA ニュース、山本ファンド委員長のじゃがいもファンド直前報告、さんだクラブからの黒枝豆の頒布のご案内、芦屋クラブから10月例会のお誘いのアピールがあり、リモート参加の方々からも一言ずつお話を伺いました。

カクチーナでの会食が出来なかった関係で12月のクリスマス例会はぜひそちらでやりましょうと言うことで廣瀬会長の閉会点鐘でお開きになりました。

出席者は会場来場者：芝川又美氏、廣瀬会長、浅野、足立、岩田、小野、重村、濱崎、藤田、万本、山口(吉)、山本。リモート参加者：石井、馬場(一)、馬場(貴)、丸山各ワイズ、丸山メネット、廣瀬メネット。ビジターのリモート参加者：安行ワイズ(さんだクラブ)、大岩会長、上野、柏原、桑野各ワイズ(芦屋クラブ)。メン15名メネット2名、ゲスト1名ビジター5名の総計23名でした。西山ワイズ・メネットはリモート参加の予定でしたが残念ながら巧く繋がりませんでした。西山ワイズはじめ欠席の方々にはZoomの記録を全員にメール配信しました。

## 芦屋クラブ第一例会

小野勅紘メン

10月20日(水)芦屋クラブの第一例会に久しぶりに参加した。西宮クラブからは廣瀬会長、岩田ワイズ、小野の3人。他にもゲストが多く参加されていて、井上神戸YMCA 総主事も参加。総勢27名(ZOOM参加2名を含む)

最初に井上総主事から昨年ワイズ六甲部8クラブから400万円の支援に対する御礼があり、その後YMCAの現在の運営状況、主に脇の浜のウェルネスセンターの業務委託の変更やYMCA全体の経営状況などについて説明があった。別途工事期間中に芦屋クラブから別途20万円の献金についても御礼があった。次月11月の西宮第一例会にも井上総主事が訪問される。

続いてクラブからみどり作業所への支援金の贈呈

で、大澤メネットが代理で受けた。  
会食は久方ぶりであったが和食膳が用意されフル  
ーツも付き満足の食事であった。



さて、ゲストスピーカ  
ーの前島宗甫（むねと  
し）先生の紹介が島田ワ  
イズからあった。関学大  
神学部を卒業されて神学  
部でも教鞭を取られ、現  
在は大阪泉北クラブの飯  
沼阪和部長が所属されて  
いる大阪高石教会の牧師でもある。

学生時代からアメリカンフットボールに勤まれ、  
卒業後もコーチや顧問としてクラブを率いてこら  
れた苦勞話をお聞きした。

特に鮮明であったのは、例の日大事件後の影響  
も含めて、関学アメフトのファイターズが過去も  
現在もどのように活躍しているか興味深いお話を  
伺った。

ファイターズは以前は京大がライバルであった  
が、昨今立命の躍進が大きい。そんな中で例の日  
大事件が起きた。当時鳥内監督を中心としてKG  
は如何にあるべきかが多くの関係者中心に議論さ  
れてきた。しかし、ファイターズの姿勢は変わる  
ものではない。

というのは2003年8月の合宿でチームの中心  
選手であった、平群（へぐり）雷太君が心臓発作  
で急死した。学生たちは記念会を行ったが衝撃は  
大きかった。そんな中で学生達の中から、「先生祈  
って下さい」という声が上がった。それ以来ファイ  
ターズでは試合の前の10分間を利用して2分  
間、聖書を読み祈りの習慣を守っている。これは  
部長や監督が命じたものではなく学生たちが自主  
的に行っているものだ。それにより学生たちはお  
互いに語りかけクールダウンさせつつモチベー  
ションを高めてきた。これはいわゆる「腑に落ち  
る」という言葉そのものである。

監督は学生たちがどう思っているのか、3年間ど  
のように活動してきたのか、どんな人間になるの  
かなどを一对一で面談する。そして4年生になっ  
た時その役割、結論や目標がどう達成出来たかを  
検証する。ではその4年生は何をしているのか。

4年生は殆ど単位を取れているので、単位をまだ  
取れていない1、2年生に授業に出させて、グラ  
ンドの清掃を自主的に行っている。こうして4年  
生は下級生に背中を見せて卒業していく。

体育会に加えて最近「体育局」という組織が出来  
た。これは teach（教える）という観点から  
learn（学ぶ）という習慣に焦点を当てるもので、  
単位の取れない学生は試合には出させない。正課  
以外に課外活動の持つ意義がここにある。課外活  
動でも学生を支援するものだ。

そこには第4代ベーツ院長が提唱されて今やKG  
の象徴にもなっている“Mastery For Service  
（奉仕のための練達）”の意味が大きい。そこ  
には「自由」がなければならない。まず自由があ  
り、つかみ取る自由、輝いている自由、そこにフ  
ァイターズの存在意義がある。1995  
年の阪神大震災以後ボラン  
ティアの意義  
が叫ばれてい



るが、ボランティアにもこの“MFS”の自由が生  
きている。祈りと自由の上に“MFS”の体現をフ  
ァイターズが経験して世に送り出している。

中々重みのあるお話でした。ファイターズのOB  
でもある岩田ワイズも同席されて感慨深いものが  
あったようであった。

誕生日のお祝いは何と4月からの半年間の誕生  
日を一括してお祝いしたので、約半分の方がお  
祝いを受け取った。我が西宮の岩田ワイズも10  
月のお祝いをみどり作業所のクッキーを戴いた。



# YMCA ニュース

担当主事：藤田良祐

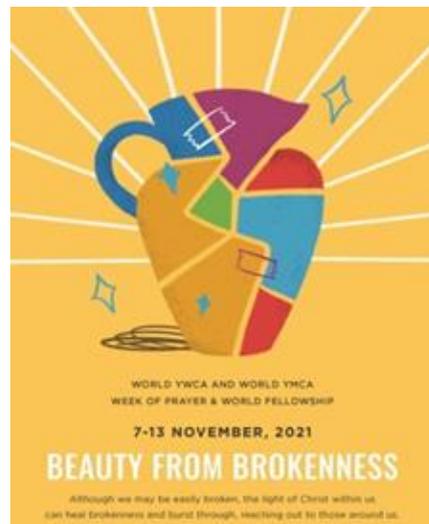
緊急事態宣言が解除されたことにより飲食店では酒類の提供も再開され、営業時間も延長されました。西宮ワイズメンズクラブ御用達の「夢庵」も22:30まで営業時間が延長されています。4名以下のマスク会食が推奨されるなど制限はあるものの、少しずつ日常が取り戻されつつあるように思います。YMCAでも感染症対策は継続しつつですが、様々なプログラムや行事が再開され、冬休み・春休みにはキャンプも計画しています。

今月はブリテンに記載する聖句を選ばせていただきました。「見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」という有名な聖書の箇所です。新型コロナの感染状況は少し落ち着き、少しずつコロナ前の日常が取り戻されつつあります。しかし、2020年3月からのパンデミックにより私たちの生活には多くの制限がかけられ、この1年半で多くのことが変化しました。こうした社会状況の変化は、目には見えない子どもたち一人ひとりの心の中にどのような変化をもたらしたのでしょうか。「見えないものに目を注ぎます。」この聖句は、多くの子どもたちの育ちに関わる私たちに大切なことを気づかせてくれます。ともすれば「目に見えるもの」にばかり縛られてしまう私たちですが、忙しい日々の中にあっても少し立ち止まり、子どもたちの心に目を向け寄り添っていく。大切なことは行事やプログラムを再開することではなく、子どもたちの心がどう育まれているか。コロナから解放されようとしている今だからこそ、真に大切なことを忘れずに活動していきたいと思います。

## 1. 世界 YMCA・YWCA 合同祈禱週

1904年以來、世界のYMCAとYWCAは毎年11月の1週間を合同祈禱週として定め、共に祈りを守ってきました。今年は11月7日(日)～13日(土)を合同祈禱週と定め、「こわれたものからの美しさ」をテーマに祈りを合わせます。新型コロナウイルスのパンデミックは世界中のYMCA・YWCAに大きな影響を及ぼしました。私たちの活動は変わってしまった部分もあるかも知れませんが、

目指すゴールに変わりはありません。宗教や人種あるいはジェンダーに関わらず、一人ひとりの尊厳が守られる公正な世界の実現のために世界中の仲間と共に祈りを合わせたいと思います。



## 2. 第23回神戸YMCAチャリティーラン

昨年はコロナの影響により中止としましたが、今年は例年の開催方法から少し形を変えてオンラインと対面(しあわせの村)でのチャリティーランを開催します。詳細は神戸YMCAのHP(<https://sites.google.com/a/kobeymca.org/c-run/>)をご覧ください。チャリティーランは心身に障がいのある子どもたちを支援するために全国各地のYMCAで開催されています。西宮YMCAのサポートプログラムもこのチャリティーランの収益の中から支援を受けてキャンプなどの特別プログラムを提供しています。(現在は日帰りのみ)西宮ワイズメンズクラブの皆様にはチャリティーランの趣旨にご賛同いただき、ご支援いただいていることに心より感謝申し上げます。今年も是非、しあわせの村でご参加いただければ幸いです。



## じゃがいもファンド報告

ファンド委員長 山本常雄メン

恒例のじゃがいも作戦も本年は10月21日に佐川急便神戸営業所にコンテナが到着し、21～23日に引取分の引揚が終わり、濱ガレージを中継地として利用させて頂いた2次引揚も10月中に全て完了致しました。

佐川急便の宅配が23日以降になったことでご迷惑をお掛けした方々にお詫び申し上げます。

数量はじゃがいも428箱、かぼちゃ73箱、三種詰合174箱、総計675箱となり昨年比6%増となりました。

この後クレームの確認と代金の回収を宜しくお願い致します。皆様ご協力ありがとうございました。



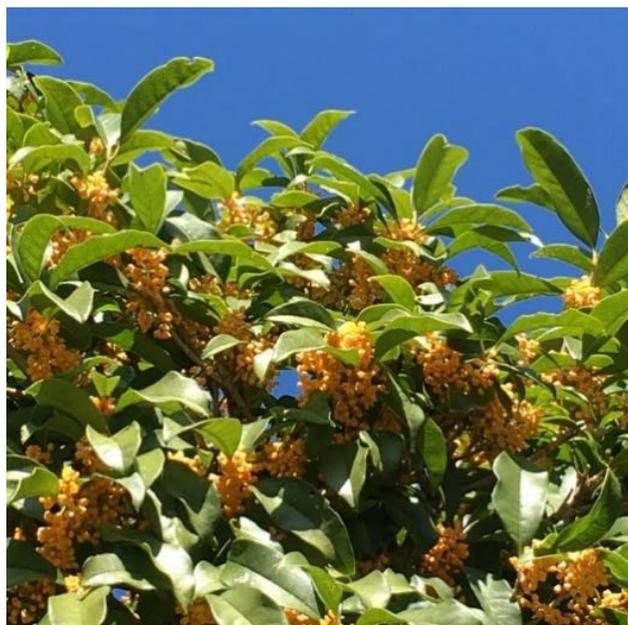
<編集後記>

ブリテン委員長 山口吉郎

まだかまだかと気になってた金木犀が10月も最終日になりやっと芳香を漂わせて来ました。

秋の始まりを告げる木犀の香りですが、今年はととも遅い開花でした。

この時期植木屋さんがあちらこちらでチョコキチョコキと剪定されてますが、いっぱい花がついている木犀は出来るだけ後回しにしていきたいものです。



## ワイズニュース

【今後の予定】

11月1日(月) デジタル小委員会 石井メン

11月12日(金) 第一例会 18:30～

西宮YMCA ズームハイブリッド

ゲストスピーカ- 井上真二総主事

11月20日(土) 瀬戸山陰部会

11月23日(火・祝) チャリティーラン

しあわせの村 10:00～

記念植樹(1回目ソメイヨシノ) 11:00～

11月26日(金) 第二例会 15:00～

12月18日(土) クリスマス例会

